

# チェコ

## Czech Republic

	2013年	2014年	2015年
①人口：1,055万人（2015年）			
②面積：7万8,868km <sup>2</sup>			
③1人あたりGDP：1万7,257米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	△0.5	2.0	4.2
⑤消費者物価上昇率（%）	1.4	0.4	0.3
⑥失業率（%）	7.0	6.1	5.0
⑦貿易収支（100万ユーロ）	6,404	7,983	7,720
⑧経常収支（100万ユーロ）	△833	275	1,485
⑨外貨準備高（100万米ドル）	55,798	54,085	64,148
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	99,652	106,251	115,877
⑪為替レート（1米ドルにつき、 チェコ・コルナ、期中平均）	19.5706	20.7575	24.5987

〔注〕⑥：ILO基準、⑦：国際収支ベース（財のみ）  
〔出所〕①②④～⑥：チェコ統計局、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：チェコ国立銀行

2015年のチェコ経済は、4.2%の高成長を記録した。EU基金の補助による設備投資等の増加による国内総固定資本形成の拡大が主因。貿易は前年に引き続き、自動車関連分野の輸出が好調。対内直接投資では中国、韓国の存在感が高まった。

### ■設備投資増加により、GDPは4.2%の高成長

2015年のチェコ経済は、2007年以来最高の前年比4.2%のプラス成長となった。2014年に引き続き民間および政府最終消費支出と国内総固定資本形成といった内需が拡大、特に国内総固定資本形成が前年比7.3%増と大幅に増加したことによる。

GDPを需要項目別にみると、政府最終消費支出が2.8%増、民間最終消費支出も2.8%増と、ともに2014年の増加幅を上回った。また国内総固定資本形成の大幅増は、EU基金からの補助が2015年でいったん締め切られることによる、建設や機械、設備の整備に対する駆け込み投資が原因と考えられる。

2016年第1四半期の実質GDP成長率は2014年並みの前年同期比2.1%増と予測される。これは、国内総固定資本形成が前年同期比3.1%増と例年並みに戻ることが見込まれるため。有効求人倍率は2008年以来最も高い1.4%、2015年第4四半期の失業率はEU域内でドイツに次いで低い4.5%を記録するなど、経済の好調が労働市場に反映

されている。また原油価格の低下、世界規模での低インフレの影響で消費者物価上昇率も2003年以来最低水準の0.3%となった。2016年も引き続き民間最終消費支出を中心とした内需が経済を牽引し、輸出は原油価格低迷を原因としたドイツなどの主要輸出相手国の内需増加があるものの、経済成長への寄与はわずかであると予測される。

### ■中国からの輸入が急拡大

2015年の貿易は輸出入額ともに2014年よりも増加。輸出は前年比8.5%増の1,430億5,800万ユーロ、輸入は9.7%増の1,274億3,900万ユーロとなり、前年から転じて輸入の伸び率が輸出の伸び率を上回った。チェコ財務省は、2016年も2015年に引き続き、緩やかな内需増加による財・サービスの輸入増が輸出増を上回ると予測している。

輸出を品目別にみると、全体の55.5%を占める機械類・輸送用機器が前年比9.4%増となった。これは最大の構成比を占める自動車（構成比19.7%）が13.7%増、特に完成車（10.7%）が14.8%増、自動車部品（7.9%）が13.1%増と、自動車関連分野が2014年に引き続き好調に輸出を伸ばしたことに加え、電気機器（10.0%）が11.4%増と好調だったため。雑製品（12.2%）も12.4%増と好調だった。

輸出を国・地域別にみると、全体の64.6%を占めるユーロ圏が10.3%増となったほか、国別では最大の輸出先であるドイツ（構成比32.3%）が9.6%増、国別でドイツに次ぐ輸出先であるスロバキア（9.0%）は16.2%増と大幅に増加した。西欧諸国では英国

表1 チェコの需要項目別実質GDP成長率

	2014年	2015年	2015年				2016年 Q1
			Q1	Q2	Q3	Q4	
実質GDP成長率	2.0	4.2	4.0	4.5	4.1	4.3	2.1
民間最終消費支出	1.5	2.8	2.7	2.8	2.7	3.0	2.7
政府最終消費支出	1.8	2.8	2.3	2.5	4.5	1.9	2.4
国内総固定資本形成	2.0	7.3	3.5	8.6	8.0	8.5	3.1
財貨・サービスの輸出	8.9	7.0	7.4	7.2	5.4	8.0	5.0
財貨・サービスの輸入	9.8	7.9	9.2	8.3	6.5	7.6	5.7

〔注〕①四半期の伸び率は前年同期比。

②2015年は暫定値、2016年は推計値。

〔出所〕チェコ財務省

表2 チェコの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年	2015年			2014年	2015年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	72,549	79,389	55.5	9.4	50,266	57,755	45.3	14.9
原料別製品	21,740	22,631	15.8	4.1	20,398	21,899	17.2	7.4
雑製品	15,558	17,483	12.2	12.4	12,263	14,059	11.0	14.6
化学製品	8,749	8,845	6.2	1.1	13,493	14,490	11.4	7.4
食料品・生きた動物	4,734	5,221	3.6	10.3	5,761	6,403	5.0	11.1
鉱物性燃料	3,588	4,277	3.0	19.2	9,784	8,484	6.7	△13.3
食用に適さない原材料	3,228	3,172	2.2	△1.7	2,911	2,800	2.2	△3.8
飲料・たばこ	994	1,225	0.9	23.3	719	863	0.7	20.0
動植物性油脂	377	459	0.3	21.7	289	346	0.3	19.7
合計（その他含む）	131,806	143,058	100.0	8.5	116,209	127,439	100.0	9.7

〔注〕 EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

〔出所〕 チェコ統計局

表3 チェコの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年	2015年			2014年	2015年		
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	108,312	119,149	83.3	10.0	76,988	83,293	65.4	8.2
ユーロ圏	83,855	92,467	64.6	10.3	59,370	63,622	49.9	7.2
ドイツ	42,178	46,228	32.3	9.6	30,319	33,161	26.0	9.4
スロバキア	11,045	12,833	9.0	16.2	6,152	6,560	5.1	6.6
フランス	6,677	7,330	5.1	9.8	3,718	3,898	3.1	4.8
非ユーロ圏	24,457	26,682	18.7	9.1	17,618	19,671	15.4	11.7
ポーランド	7,885	8,360	5.8	6.0	9,019	10,141	8.0	12.4
英国	6,685	7,572	5.3	13.3	2,474	2,692	2.1	8.8
ハンガリー	3,671	4,219	2.9	14.9	2,698	3,024	2.4	12.1
アジア大洋州	4,921	5,337	3.7	8.4	22,109	27,666	21.7	25.1
中国	1,542	1,669	1.2	8.2	13,184	17,041	13.4	29.3
ASEAN	783	838	0.6	7.1	3,016	3,742	2.9	24.1
シンガポール	205	216	0.2	5.5	487	582	0.5	19.3
日本	772	780	0.5	1.1	1,919	2,065	1.6	7.6
インド	447	492	0.3	10.1	547	605	0.5	10.6
韓国	455	457	0.3	0.5	2,344	3,047	2.4	30.0
北米 (NAFTA)	3,625	4,210	2.9	16.2	3,340	3,633	2.9	8.8
米国	2,948	3,378	2.4	14.6	2,813	3,002	2.4	6.7
中東	3,459	4,093	2.9	18.3	1,339	1,515	1.2	13.1
トルコ	1,625	1,726	1.2	6.2	1,009	1,143	0.9	13.4
湾岸諸国会議(GCC)	1,155	1,481	1.0	28.2	106	151	0.1	43.0
ロシア	4,105	2,869	2.0	△30.1	4,704	3,865	3.0	△17.8
アフリカ	1,556	1,546	1.1	△0.6	678	731	0.6	7.9
中南米	646	672	0.5	3.9	746	846	0.7	13.3
ブラジル	291	240	0.2	△17.8	233	245	0.2	5.2
合計（その他含む）	131,806	143,058	100.0	8.5	116,209	127,439	100.0	9.7

〔注〕 ① EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

② アジア大洋州はASEAN+6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港および台湾を加えた合計値。

〔出所〕 チェコ統計局

(5.3%) が13.3%増、フランス (5.1%) は9.8%増となった。ロシアは30.1%減と大幅に減少し、構成比も2.0%に低下した（前年は3.1%）。

輸入を品目別にみると、最大品目の機械類・輸送用機器（構成比45.3%）が前年比14.9%増となった。これは主要品目である自動車（9.7%）が18.1%増であったこと

に加え、電気機器（9.9%）も8.9%増、事務機器（6.9%）も14.8%増となったことが主因である。原料別製品は金属製品（4.3%）が15.6%増と牽引した。一方で、鉱物性燃料は2014年に引き続き前年比13.3%減と大きく減少し、全体構成比も6.7%とさらに縮小した（前年は8.4%）。

輸入を国・地域別でみると、全体の49.9%を占めるユーロ圏で前年比7.2%増となり、国別ではドイツ（構成比26.0%）が9.4%増と2014年並みに増加したほか、中国が29.3%増と大幅に増加し、構成比では前年比2.1ポイント増の13.4%でドイツに次ぐ規模を維持した。周辺国ではポーランド（8.0%）が12.4%増、ハンガリー（2.4%）が12.1%増と10%を上回る増加となったほか、韓国（2.4%）も30.0%増と伸びが目立った。ドイツからは自動車部品、スイッチ電気回路用電気器具、完成車が、中国からは通信機器、自動データ処理機器がそれぞれ輸入品目の上位を占める。一方、ロシアは引き続き17.8%減と大幅に減少し、構成比も1.0ポイント減の3.0%に縮小した。

### ■韓国がドイツとフランスに次ぐ投資国へ

2015年の対内直接投資総額（国際収支ベース、ネット、フロー）は11億300万ユーロと前年比73.4%減となった。

業種別でみると、製造業のうち基金属・金属製品が前年比6.8倍の7億7,000万ユーロ、石油・化学・ゴム・プラスチックが6.4倍の3億1,500万ユーロとなった。一方で、自動車が7億4,300万ユーロ、鉱業が5億1,200

万ユーロ、情報・通信（サービス業）が4億9,000万ユーロ、専門・科学・技術（サービス業）が3億9,100万ユーロのそれぞれ引き上げ超過となったことが対内直接投資額を押し下げた主要要因となった。

国・地域別でみると、EU28からが8億3,400万ユーロにとどまり、前年比76.9%減だった。ドイツが12億9,100万

表4 チェコの業種別対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2014年	2015年(暫定値)		2014年	2015年(暫定値)	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
サービス業	3,611	819	△77.3	1,064	2,038	91.6
金融・保険	△58	704	-	1,006	973	△3.2
小売り・卸売り、自動車修理	429	481	12.2	△22	554	-
不動産	584	405	△30.6	△62	63	-
芸術・娯楽・レクリエーション	△6	102	-	7	1	△84.8
専門・科学・技術	2,061	△391	-	62	359	478.9
情報・通信	43	△490	-	38	85	123.9
製造業	1,937	595	△69.3	433	△5	-
基金属・金属製品	114	770	577.2	26	25	△3.9
機械・機器	379	348	△8.4	0	△18	-
石油・化学・ゴム・プラスチック	49	315	540.0	36	△43	-
木材・紙・印刷物	182	3	△98.2	9	3	△62.9
自動車	500	△743	-	20	△7	-
電気・ガス等供給	△759	177	-	△262	58	-
農林水産業	12	25	108.5	0	0	-
上下水道、廃棄物管理	△81	△36	-	△1	0	-
鉱業	△681	△512	-	2	△1	-
合計(その他含む)	4,141	1,103	△73.4	1,221	2,078	70.2

〔出所〕チェコ国立銀行

表5 チェコの国・地域別対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2014年	2015年(暫定値)		2014年	2015年(暫定値)	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU28	3,613	834	△76.9	1,163	1,808	55.4
ユーロ圏	3,629	505	△86.1	1,578	1,910	21.0
ドイツ	2,120	1,291	△39.1	516	32	△93.8
フランス	511	542	6.2	32	181	472.2
ルクセンブルク	1,675	416	△75.2	4	2	△51.3
スロバキア	107	233	116.9	936	923	△1.4
オーストリア	208	185	△11.2	△13	4	-
キプロス	708	△0	-	69	120	74.0
オランダ	618	△1,727	-	△588	590	-
非ユーロ圏	△16	329	-	△415	△102	-
英国	15	304	1,883.7	△26	22	-
ハンガリー	6	130	1,996.8	85	8	△90.6
ルーマニア	△5	107	-	△666	△125	-
韓国	267	529	98.3	n.a.	0	n.a.
中国	△3	252	-	36	△1	-
日本	107	178	66.2	△9	△6	-
インド	△0	78	-	41	30	△27.1
中南米	89	11	△88	22	△3	-
アフリカ	△2	1	-	18	△3	-
ロシア	143	△52	-	△10	195	-
北米 (NAFTA)	△26	△735	-	15	△9	-
米国	△7	△713	-	10	△10	-
合計(その他含む)	4,141	1,103	△73.4	1,221	2,078	70.2

〔出所〕チェコ国立銀行

ユーロで2014年に引き続き最大の投資国となったが、オランダは逆に17億2,700万ユーロの引き揚げ超過となった。また韓国が5億2,900万ユーロとドイツ、フランスに次いで第3位の投資国となった。

チェコ投資・ビジネス開発庁によると2015年の国内・外国企業による対内投資案件は106件。450億コルナの投

資と1万4,000人以上の新規雇用を創出した。同庁によると、主な案件は以下のとおりである。

2015年7月には、台湾の電子機器受託生産 (EMS) のフォックスコンが25億コルナの投資で生産を拡張し、2015～2018年の投資総額は37億コルナに上り2,000人以上の新規雇用を創出すると発表した。2015年12月に米国オンライン小売り大手のアマゾン・ドット・コムは2016年第4四半期までにプラハ近郊ドブロビースにある返品センターをプラハへ移設し、移設後3年間で3,000人を雇用すると発表。2016年1月に航空機エンジン生産企業のGEアビエーションはターボプロップエンジンの開発、試験、生産拠点を設立し、500人以上の新規雇用を創出する計画を発表した。また2015年9月に中国のBWIが自動車ショックアブソーバーの生産工場を設立すると発表。チェコ投資・ビジネス開発庁は、2015年に中国からの投資残高が11億5,000万コルナに上り、今後も50億コルナ以上の投資が予定されていることを発表した。

2015年の対外直接投資総額は前年比70.2%増の20億7,800万ユーロとなった。業種別では、サービス業の金融・保険が9億7,300万ユーロと2014年に引き続いて最大となった。また、小売り・卸売り、自動車修理が5億5,400万ユーロで2014年の引き揚げ超過から増加に転じたのを始め、専門・科学・技術が前年比5.8倍の3億5,900万ユーロ、情報・通信が前年比2.2倍の8,500万ユーロとサービス業が好調に伸びた。

国・地域別では、EU28向けが前年比55.4%増の18億800万ユーロで全体構成比の87%を占めた。国別ではスロバキア向けが前年比1.4%減の9億2,300万ユーロで最大の投資先となり、続いてオランダ向けが引き揚げ超過から転じて5億9,000万ユーロ、ロシア向けも引き揚げ超過から転じて1億9,500万ユーロ、フランス向けが前年比5.7倍の1億8,100万ユーロであった。

2015年以降に発表された主な直接投資案件としては、エネルギー企業エネルゲティツキー・ア・プルーミスロビー・ホールディングス (EPH) がドイツのエネルギー企業エーオンからイタリアの石炭およびガス火力発電所を買収した案件などがある。

## ■対日貿易赤字が拡大

2015年の対日輸出は前年比1.1%増の7億8,000万ユーロ、輸入は7.6%増の20億6,500万ユーロ。貿易赤字は12億8,500万ユーロとなり、2014年の11億4,700万ユーロから拡大した。

チェコの輸出全体に占める日本のシェアは0.5%と

表6 チェコの主な対内直接投資事例（2015年）

<M&A>

被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
タービン製造	エコル	西安陝鼓動力	中国	1月	13億4,000万コロンナ	エコル株式の75%を買収。
ビール醸造	ピボバル・ロプコ ビッツ・グループ	中国華信	中国	9月	19億コロンナ	チェコのビール会社の株式79.4%を取得予定の特別目的会社SPCに出資、株式の70%を保有。
航空	トラベル・サービス・エアラインズ	中国華信	中国	9月	未公表	LCCのスマートウィングスを運営するトラベル・サービス・エアラインズの株式10%を取得。将来的に29.9%追加取得予定。
ゴム製造	CGSホールディング	トレルボルグ	スウェーデン	11月	109億スウェーデンクローナ	エンジニアリング会社トレルボルグは、チェコのゴムメーカーであるミタス、ルベナ、サパテフの3社を統括するCGSホールディングを買収。
食品	ハメ	オルクラ	ノルウェー	12月	1億7,500万ユーロ	ハメ社の親会社デカプテルス社（本社：ルクセンブルク）より買収。
包装材	フィオモ	フッタマキ	フィンランド	12月	2,800万ユーロ	チェコのアルミホイルメーカー買収で合意。

〔注〕<時期>は公表時期。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表7 チェコの主な対外直接投資事例（2015年）

<M&A>

買収企業		被買収企業（事業）		時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
ペンタ・インベストメンツ	金融	ズベルバンク・スロバキア	スロバキア	12月	非公表	ズベルバンク（ロシア貯蓄銀行）の在オーストリア子会社が所有するズベルバンク・スロバキア株の99.5%を取得。

〔注〕<時期>は公表時期。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

2014年から0.1ポイント減少した。対日輸出最大品目の機械類・輸送用機器（構成比54.5%）では通信機器（18.7%）が前年比77.2%増と伸びたほか、食料に適さない原材料（11.0%）では鉱石・貴金属選鉱（7.7%）が前年比44.0%増だった。一方、機械類・輸送用機器のうち内燃ピストンエンジン（15.4%）は20.7%、自動車部品（4.6%）は5.1%それぞれ減少した。

対日輸入は増加したものの、チェコの輸入全体が増加したために日本の構成比は2014年に引き続き1.6%。機械類・輸送用機器（70.3%）では事務機械（13.9%）が前年比6.0%増で、回転発電機・モーター（6.5%）は4.0%増、電気機器（5.4%）は20.0%増だった。一方で、乗用車（6.1%）は10.5%減だった。

## ■日本企業による投資は66.2%増を記録

2015年の日本からの直接投資は、前年比66.2%増の1

億7,800万ユーロであった。ジェトロ・プラハ事務所の調査によると、チェコに進出している日系企業は234社（2016年3月時点）。うち製造業は98社である。日本からの直接投資残高（国際収支ベース、ネット）は約37億ドルで、被雇用者数は推定4万6,943人だった。

アルファは2016年3月、スウェーデンのアッサアプロイがチェコ等で手掛けるカーアクセス・セキュリティ事業を1,700万ユーロで譲り受けると発表。電通の海外本社電通イージス・ネットワークは2016年3月にデジタルメディア戦略策定とプランニング等のサービス提供を行うアドエクスプレスを買収することで合意した。コニカミノルタは2015年7月、ITサービス企業のウェブコムを買収契約を締結した。リコーは2015年7月にオフィス機器販売代理店インプロマツの子会社を買収した。サカタインクスは2015年9月、インクジェットインキの生産を主とする新工場をプラハに開所した。

自動車部品メーカーを中心に投資意欲は高まっているが、チェコに進出する製造業の多くは労働力不足に直面している。チェコ政府はウクライナ人労働者に対するビザの優先発給パイロット事業を始めたほか、「2016年インダストリー4.0アクションプラン」を作成し、製造業の労働生産性を高めることも目指している。

表8 チェコの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）				輸入（CIF）			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	424	425	54.5	0.3	1,349	1,452	70.3	7.6
食料に適さない原材料	75	86	11.0	14.5	21	21	1.0	△3.2
雑製品	100	84	10.8	△16.1	233	277	13.4	18.6
原材料別製品	40	57	7.3	40.9	220	205	9.9	△6.8
化学製品	54	49	6.3	△8.2	93	107	5.2	15.0
食料品・生きた動物	40	42	5.4	4.3	1	2	0.1	29.2
合計（その他含む）	772	780	100.0	1.1	1,919	2,065	100.0	7.6

〔出所〕チェコ統計局